



2017年9月期
決算説明会資料

2017年11月13日
株式会社システムソフト
東証一部：7527

もくじ

- | | |
|------------------|------|
| 1. 2017年9月期決算概要 | P.03 |
| 2. 今後の事業展開 | P.09 |
| 3. 2018年9月期業績見通し | P.12 |
| 4. 補足資料 | P.14 |

1. 2017年9月期 決算概要

2017年9月期 決算概要（サマリー）

全社

売上高	： 3,371百万円	(前年比 △157百万円、 △4.5%)
営業利益	： 130百万円	(前年比 △312百万円、 △70.5%)
当期純利益	： 58百万円	(前年比 △251百万円、 △81.1%)

- 当社が得意とする技術要素・ノウハウを活かし、賃貸不動産業界をはじめとするシステム開発案件を受注
- 新規事業の推進
(RPA販売代理店契約、IoT子会社によるスマートロック共同開発における業務提携)

システムソリューション事業

売上高：2,391百万円 (前年比△1.3%)、セグメント利益：478百万円 (前年比△7.0%)

- 不動産分野の大型案件を引き続き受注、一部案件の受注や納期が次期にずれ込んだことにより当初の見込みに対して伸び悩み、前年比微減

マーケティング事業

売上高：979百万円 (前年比△11.3%)、セグメント利益：△70百万円 (前年は利益171百万円)

- マーケティング手法の多様化や競争の激化に伴い、利益率の高い案件の契約更新につながらず、利益率が大幅に低下

2017年9月期 通期業績概要

- 前年比で営業利益・当期純利益ともに大幅減少
- システムソリューション事業の一部案件のずれ込みにより伸び悩み
マーケティング事業の利益率低下が大きく影響

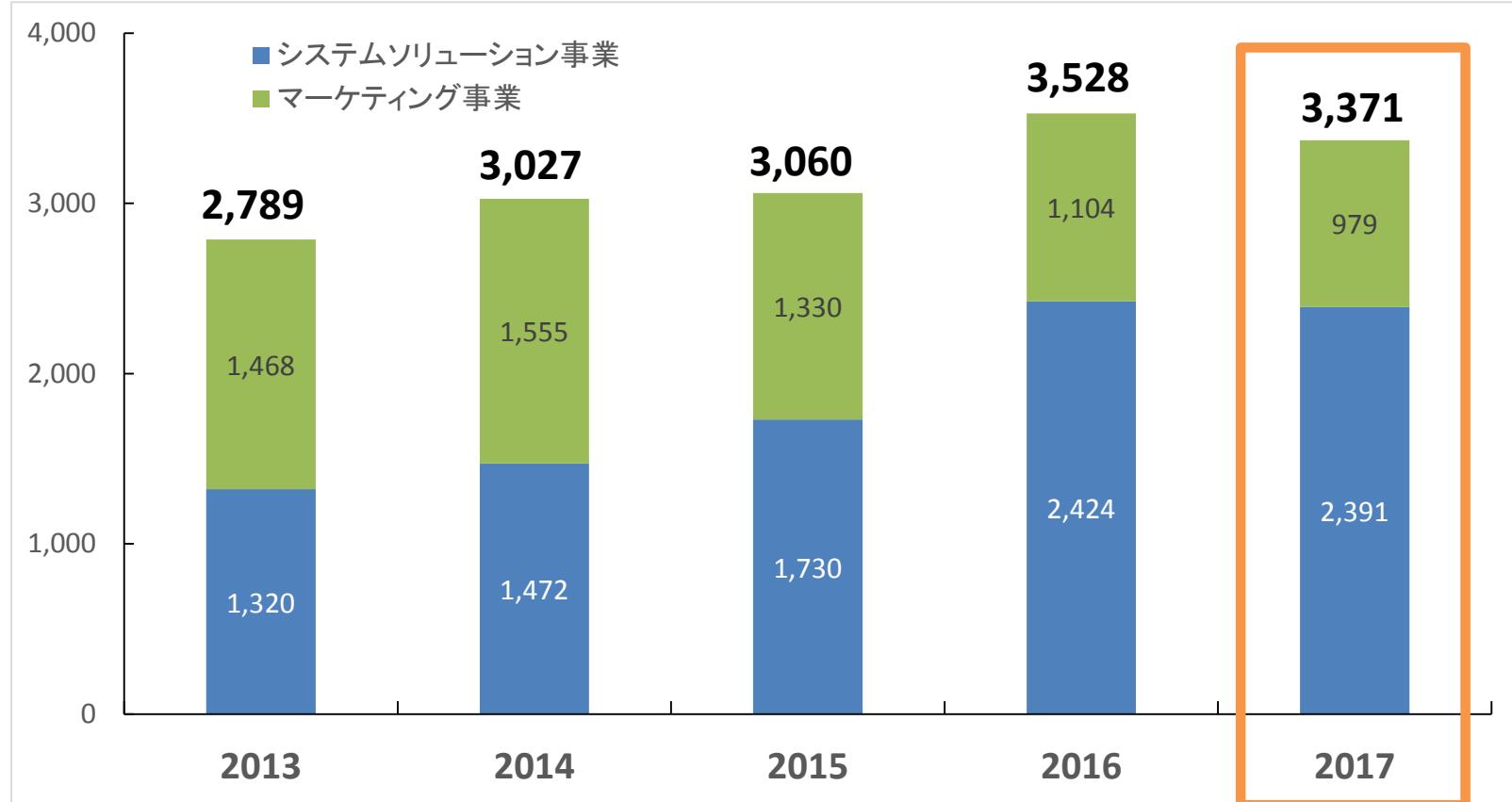
(単位：百万円)

	2016年	2017年	前年度比
売上高	3,528	3,371	△4.5%
売上総利益	1,176	902	△23.3%
販売管理費	733	771	+5.2%
営業利益	443	130	△70.5%
営業利益率(%)	12.6	3.9	△8.7pt
経常利益	384	81	△78.9%
特別損失	0	89	-
税引前当期純利益	384	△8	△102.2%
当期純利益	310	58	△81.1%

売上高の推移

大型の賃貸不動産業界向けシステム開発案件を継続受注するも、一部案件は受注・納期のずれ発生、マーケティング事業は売上減少

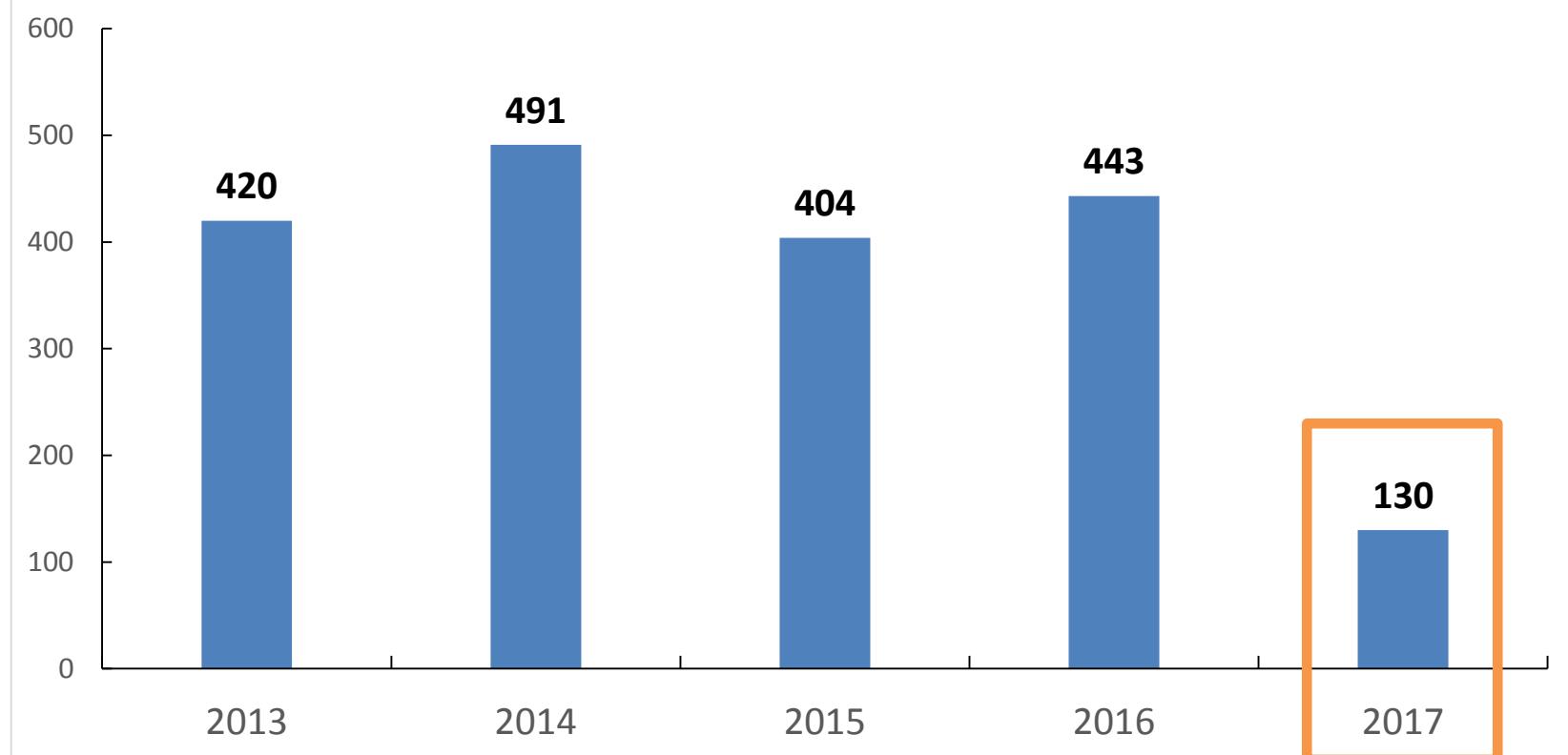
(単位：百万円)



営業利益の推移

システムソリューション事業の一部案件ずれ込みに加え、マーケティング事業の利益率低下が大きく影響し、前年比312百万円(70.5%)減少

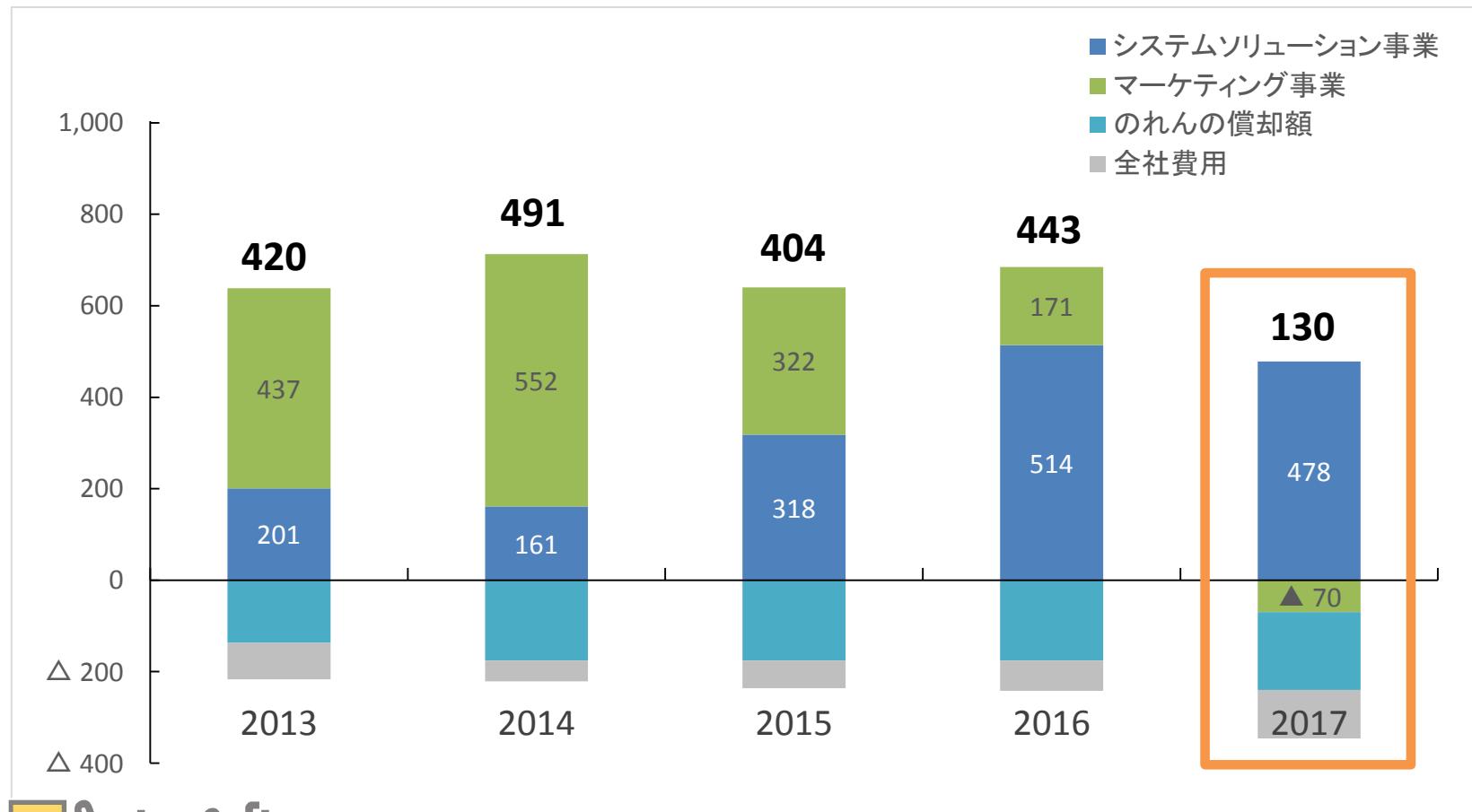
(単位：百万円)



営業利益の推移 セグメント別

マーケティング事業では原価低減策を講ずるも、利益率低下を抑制できず

(単位：百万円)



2. 今後の事業展開

基本方針

- 前期、事業構造の転換を推進してきた戦略を維持
- 顧客、サービスの種類、パートナー等の多様化

今後の展開

経営	ビジョン／戦略	<ul style="list-style-type: none">● 前期方針を維持● デジタルトランスフォーメーションの領域をさらに強化
	施策	<ul style="list-style-type: none">● ユニット経営の徹底● 事業戦略実行のための人事制度の変更（10月実施）
既存事業	システムインテグレーション	<ul style="list-style-type: none">● 事業領域の再評価と注力分野の設定● 収益性の向上（単価向上、原価低減）
	WEBマーケティング	<ul style="list-style-type: none">● 提供サービスの拡大（SEO中心からWEBマーケティング全般へ）
新規事業	サービス	<ul style="list-style-type: none">● スマートロックを基盤としたホームIoT事業● 日本最大コ-ワーキングスペース事業の支援● RPA関連サービスの推進
	投資	<ul style="list-style-type: none">● 純投資、政策投資の多様化・拡大● M&Aの検討

3. 2018年9月期業績見通し

2018年9月期業績予想（第37期）

企業のIT投資全般における慎重姿勢は継続されると予測

（単位：百万円）

	2017年実績	2018年予想	前年比
売上高	3,371	2,950	△12.5%
営業利益	130	220	+68.1%
経常利益	81	170	+109.1%
当期純利益	58	100	+70.8%
EPS（円）	0.86	1.47	—

4. 補足資料

貸借対照表

(単位：百万円)

	2016年	2017年	前年度比
流動資産	4,250	3,379	△20.5%
現金及び預金	2,673	1,699	△36.4%
固定資産	3,557	4,562	+28.2%
有形固定資産	84	32	△61.8%
無形固定資産	2,697	2,818	+4.5%
投資その他の資産	775	1,711	+120.8%
総資産	7,808	7,941	+1.7%
負債合計	722	919	+27.2%
流動負債	510	383	△24.9%
固定負債	212	536	+152.3%
純資産合計	7,085	7,021	+0.9%
資本金	1,495	1,506	+0.7%
負債純資産合計	7,808	7,941	+1.7%

キャッシュ・フロー計算書

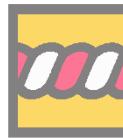
(単位：百万円)

	2016年	2017年
営業活動によるキャッシュ・フロー	150	△16
税引前当期純利益又は税引前当期純損失（△）	384	△8
減価償却費	162	191
のれん償却額	176	170
減損損失	–	82
売上債権の増減額（△は増加）	△721	△77
仕入債務の増減額（△は減少）	181	△134
その他	19	△153
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88	△1,227
無形固定資産の取得による支出	△60	△400
関係会社貸付けによる支出	–	△760
財務活動によるキャッシュ・フロー	△141	268
社債発行による収入	–	400
配当金の支払額	△135	△134
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△78	△974
現金及び現金同等物の期末残高	2,673	1,699

会社概要

会社名	株式会社システムソフト
代表取締役社長	吉尾 春樹
経営理念	当社は、優れたIT技術により、お客様の問題解決に真摯に取り組み お客様、そして社会に必要とされる会社として貢献いたします。
設立	1979年9月28日
上場	東証一部 2016年9月28日
従業員数	143名 2017年10月1日現在（役員含まず）

システムソフトはアビスパ福岡を応援しています



SystemSoft



Avispa
FUKUOKA

本資料は、株式会社システムソフト（以下、「当社」といいます）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。また、本資料に記載されている計画や見通しは作成時点における情報に基づき当社が判断し予測したものです。今後の経営環境の変化により、計画や見通しが大きく変動する場合があります。その場合には本発表の内容の更新・修正の義務は負うものではありません。以上を踏まえ、投資家の皆さまにはご自身のご判断にて投資くださいますようお願い申し上げます。